

登録コード	HM248208	開講年度	2026			
授業題目	医療生命科学特別研究				担当教員	青木 薫
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Health and Medical Sciences				副担当	
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	必須科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	研究テーマにそって課題を抽出・分析し, 研究計画を立てて研究を行い, 結果を学会演題, 論文として発表できる。
(2)詳細/Detailed information	研究を実践する過程において, 情報収集能力・分析能力・グローバルな情報発信能力を習得する。教員の研究テーマにそって研究を行うことにより, 医療生命科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。 また, その成果を発表し, 博士論文としてまとめる。					
(3)授業の概要/Overview of course	運動生理学・生化学について, 分子生物学的手法を用いて広範囲に研究する。 また, 運動器再建に重要な役割を担う生体材料の開発研究を行う。					
(4)授業計画/Course plan	1) 研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2) 計画にそって実験および調査を実施する。 3) 実験や調査結果をまとめ, その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって, 研究テーマを発展させる。 その成果を学会等において発表し, 最終的には原著論文としてまとめる。 教員は, 討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究の進捗状況に関するリサーチミーティング(月に1回程度)にてプレゼンテーションを行い, 各ミーティングごとに100点満点で評価を行う。総得点の60%以上を合格とする。 リサーチミーティングにおけるプレゼンテーション内容において、(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」と評価する。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	リサーチミーティングの際に, 研究の内容に関わる文献, 参考書を指定する。それらから得られた内容を次回のリサーチミーティングでのプレゼンテーションに含んで発表すること。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	定期的に研究の進捗状況に関するリサーチミーティングを行う。 質問, 相談はその際に受け付けるが, 必要があれば適宜, 対応する。 メール: kin29men@shinshu-u.ac.jp					
(8)授業の形式/Course format	実験計画, 実験結果の評価・考察, 研究成果の発表(学会・論文など)についてリサーチミーティングを行い, 研究を進める。					